

# いつでも・どこでも取り組める防災訓練

☎ 危機管理室 ☎(32)6280

## ■意外と身に付いていない!?安全確保の習慣

自らの備えとして、災害時の備蓄品を準備したり、避難場所などをあらかじめ確認しておくなど、その対策はさまざまですが、いざというときの安全を確保する習慣を身に付けておくことも大切です。

特に日本は多くの活断層が存在し、「地震大国」ともいわれています。気象庁の調査では、突然大きな揺れが発生したとき、何の行動もとることができなかった人が約30%であったとの結果も示されています。いざというときに正しい安全確保の行動をとることは意外と難しいのかもしれませんが。

## ■簡単に取り組める防災訓練「シェイクアウト」を実践してみましょう！

シェイクアウトは、2008年にアメリカのカリフォルニア州で始まった新しい形の防災訓練です。地震を想定して、同じ日時にそれぞれの場所で、参加者が一斉に約1分間、安全行動「ドロップ」、「カバー」、「ホールドオン」(図1参照)を実施します。とても簡単な内容ですが、個人はもちろん、町内会や各企業で防災意識を高めるためのきっかけづくりとして取り組める訓練です。いざというときのために、ぜひ実践してみましょう。

図1



- ①ドロップ 揺れに倒される前に姿勢を低く！
- ②カバー 手や腕で頭や首を守って！
- ③ホールドオン 揺れが収まるまでじっとして！

### 苦小牧市総合防災訓練開催

～訓練放送が9月2日(土)10時に放送されます～

市内小・中学校や沿岸部などを会場に住民避難訓練・避難所運営訓練・救出救助訓練などを実施します。当日、10時に訓練のための避難放送が防災行政無線(防災ラジオ)で放送されますのでご了承ください。



消防長  
わきざか きよたか  
脇坂 恭敬

特に、イベントに参加してもらおうと、将来、消防士になりたいというお子さんにとって、夢や希望を抱いていただける機会となればと思っています。

このたび、消防防災訓練センターのオープニングを記念して、消防フェスティバルが開催されます。日頃から自らの防災意識を高めていただくことはもちろんですが、この機会に私たちが行っている消防の仕事の一端を体感していただけるイベントを企画しています。

また、災害時には緊急消防援助隊の集結地点としても活用することとなっていますが、他の消防機関から援助を受ける場合や北海道隊が他の都道府県に援助に向かう場合にも、大いに役立つ施設になるものと考えています。

町内会などで設置されている自主防災組織と消防団がより連携できるきっかけになってもらえればと思っています。

地域の防災力の向上を目指して